

# マンホール蓋の効率的な維持管理

## 【概要】

- 本市では、約12万基以上のマンホール蓋を保有しており、マンホール蓋の調査に多くの時間とコストがかかっている。
- マンホール蓋の効率的な調査を行うため、モバイルマッピングシステム(MMS車両)に設置された複数のカメラにより路上のマンホール蓋を撮影し、画像のAI解析を行い、更新対象のマンホール蓋を判別することでコストを縮減し、調査の効率化を図る。

## 【調査方法】



【MMS車両イメージ】



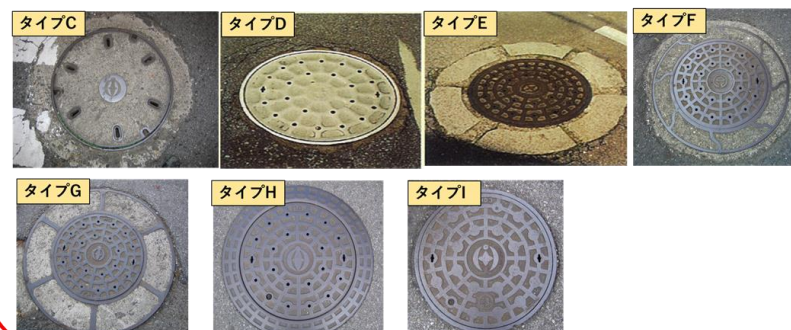
【画像データの収集】



【AIによる型式判定】

### 【更新対象】

1936年(S11年)～1980年(S55年)



1981年(S56年)～2000年(H12年)



2001年(H13年)～



### 【更新対象外】

MMS車両とAI技術を用いることで...  
年間約**3,000箇所**の調査が可能  
(調査費はこれまでと同額)

**👉 調査費の縮減や調査結果のデータ化等、調査の効率化を図ることが可能！**